



記念冊子「オーイしんちゃん」好評発売中!

高齢者の健康や、介護の悩みは「あんしんダイヤル24」へ!
☎0120-605-052

「防災無線」電話で確認サービス専用電話番号
0574-62-1548

※通話料金が必要です。
※防災無線放送後、24時間経過すると消去されます。

市民・行政一体型フェイスブック「かにすき」運用中
投稿者を募集中!!

希望者は (kouhou@city.kani.lg.jp) に申し込みください。



図書館だより

市立図書館 本館(広見) ☎0111 5120
帷子分館 ☎0111 8530
桜ヶ丘分館 ☎0111 3473

休館日 本館・分館共通
毎週月曜日、28日(金)

展示のご案内(本館)

「手づくり絵本」展 (生涯学習文化室)
期間 3月1日(土)~27日(木)
「花のまち可児 手づくり絵本大賞」は、可児市政15周年を記念し開始した事業です。平成24年度に第15回をもち終了しました。その間にたくさんの素晴らしい作品をご応募いただきました。今回は、受賞作の一部を展示します。世界で一冊の絵本をご覧ください。

新しく入った本

二 一般書
「皇帝フリードリッヒ二世の生涯 上・下」 堀野七生 / 著 (新潮社)

「イプシロン・ザ・ロケット」
西沢丞 / 写真 (オライリー・ジャパン)
「尾木ママのだいじょうぶ育児ってじつはカンタンよ!」
尾木直樹 / 著 (主婦の友社)
「ナチと理髪師」
エドガー・ヒルゼン / 著 (文芸社)

児童書

「しあわせなワニくんかんちがいレストラン」
神沢利子 / 作 はたこうしろう / 絵 (ポプラ社)
「いすおぼけぐるぐるんぼー」
角野栄子 / 作 はたこうしろう / 絵 (小峰書店)
「走れ! 移動図書館」
鎌倉幸子 / 著 (筑摩書房)

おはなしの泉のストーリーテリング

日時 3月29日(土) 午後2時~
場所 図書館本館3階 会議室
語り手 おはなしの泉のみなさん
ストーリーテリングは、耳からの読書です。絵本を使わない読み聞かせて、大人も子どもも楽しめます。

MEDIA INFORMATION

GATV いきいきマイタウン 番組案内

ケーブルテレビ可児 (デジアナ7ch、デジタル12ch) で毎日放映中!!

3/1(土)~7(金)

●ようこそ! 市長室へ
今回のテーマは、「選ばれる可児市へ」。市は、企業誘致活動を積極的に行っています。なぜ、企業を誘致する必要があるのでしょうか、また、この3年間でどのような成果があったのでしょうか。

3/22(土)~28(金)

●荒川豊蔵資料館再オープン②
荒川豊蔵資料館再オープン記念展の第2弾です。今回は、「人間国宝」に認定された、昭和30年以降の作品約50点を展示します。

3/8(土)~14(金)

●好きなのはカニダー
今年度、可児高校が取り組む地域課題解決型キャリア教育について紹介します。どのような課題があり、どのように解決したら良いのか、高校生からの提案です。

3/29(土)~4/4(金)

●子育ては、親育ち
乳幼児学級では、同じ地域の同じ年代の子どもをもつ親が集まり、子育てについて学習しています。子育て仲間を作る場として、気軽に参加してください。

3/15(土)~21(祝)

●復興のためにできること
市は、東日本大震災の復興支援のため、被災地に職員を派遣しています。今回は、派遣した職員の中から3人にインタビューします。

★みんなであいわい! 軽スポーツ
月~金曜日 7:30・12:00・17:00・19:00
21:00・22:00
土・日曜日 7:30・12:00・14:00・19:00
20:30・22:00
※番組の内容や時間は変更することがあります。
※デジタル12chのデータ放送で、市政情報も発信しています。



月~金の午前8時からは、市政情報を、毎週土曜日の午前10時からは、地域の市民活動などを放送しています。毎週木曜日の午前11時20分~11時40分は、市長や市職員が出演するコーナーもあります。お聞き逃しなく!

災害など緊急時には、特別放送をします。



FC岐阜新体制発表会見の様子

「プロサッカーチーム「FC岐阜」に、ラモス瑠偉監督、川口能活選手、三都主アレサンドロ選手というビッグネームが加入し、大きく報道されました。県民の期待も高まっています。入団会見の映像で、彼らの胸に「NGK NTK 日本特殊陶業」のロゴが映っています。

同社は4月から、当市の二野工業団地でスパークプラグの部品を製造する新工場を稼働させます。そこには、将来的に数百人の社員が勤務します。工場建物などには約280億円もの資金が投入され、雇用・地域経済の活性化に大きな効果が期待できます。

同社のほか、この3年の間で、KYB(株)、株バロー(同社もFC岐阜のスポンサーになってくれました)、ダイカル(株)などの優良企業から立地先を選んでいただきました。企業立

「選ばれる可児市へ」

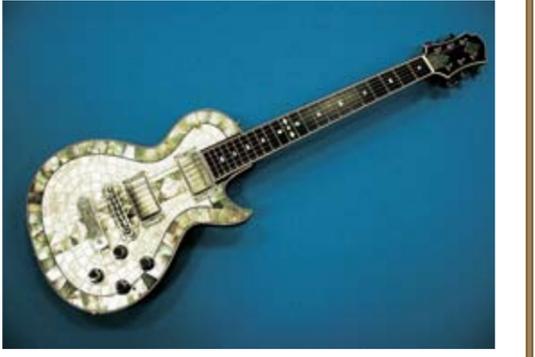
業」の名が冠されていたことに気付かれたでしょうか?自動車部品製造の世界的企業である日本特殊陶業(株)が岐阜県(可児市)に立地したご縁で、スポンサーになっていただいたという事です。

同社は4月から、当市の二野工業団地でスパークプラグの部品を製造する新工場を稼働させます。そこには、将来的に数百人の社員が勤務します。工場建物などには約280億円もの資金が投入され、雇用・地域経済の活性化に大きな効果が期待できます。

同社のほか、この3年の間で、KYB(株)、株バロー(同社もFC岐阜のスポンサーになってくれました)、ダイカル(株)などの優良企業から立地先を選んでいただきました。企業立



日本特殊陶業(株)(株日特スパークテック東濃)の新工場



二野工業団地に進出した株神田商会のギター(ZEMAITIS)

最近、新たな立地企業や拡張した工場に勤める人々たちによる、借家契約が増えているという声を耳にします。企業立地や市内企業の頑張りには、市民の働く場所が増えるばかりでなく、新しい市民の増加にも繋がります。市内での消費が増え、スポーツ、文化、ボランティアなど、様々な活動が盛んになれば、税収や雇用の増加だけでなく、まち全体に活気・活力が生まれます。

企業立地や既存産業の支援などの産業活性化施策は、大切な本市の魅力づくりの一つです。ご高齢の皆さんにも、次代を担う若い世代の皆さんにも、安心して可児市に住んでいただくためには、地域の福祉を支える糧だと思っています。

可児市長 富田成輝